



FLORAL MUSEUM NEWS

# 花の美術館だより

彩りの花と暮し  
**特集**

植物の声を  
聞いてみませんか

2000  
AUTUMN  
Vol. 11



花の美術館で子供たちに人気のある施設は何かと聞かれたら、答えはコンピューターゲームです。ゲームといっても、ここは花の美術館なので、楽しみながら植物の学習ができるマルチメディアシステムをさしています。何やらむずかしい言葉が出てきましたが、実は、パソコンの画面に指でタッチして、楽しく花束のアレンジをしたり、生年月日から誕生花を探したり、さらにはいろいろな種類の庭園を自分の好きなように作ることができるのです。

花の美術館の2階のゴムノキに、2つの電極がついた、一風変わったコンピューターシステムがあります。これは、「プラントロン」という実験装置で、植物に電極をつけ、2点間の微弱な電位変化を測定し、それを音に変換する画期的な装置です。この「プラントロン」は、ゴムノキの声を聞くための工夫として、コンピューターの画面には、音の波形が表示され、さらにスピーカーから、鳥のさえずりに置き換えた声を聞くことができるようになっていました。

なぜ、ゴムノキの音が聞けるのか不思議に思われるかもしれませんが、最近、植物は人間の脳波



## 植物の声を聞いてみませんか

と同じような生体リズムを持って生きているということがわかってきました。この生体リズムは植物の表面(おもに葉)の電位差を測定することによってわかると考えられています。この測定データをコンピューターで処理したものが植物の声として聞くことができるのです。

ところで、実験中のゴムノキは人間と同じように、機嫌のいい時もあれば悪い時もあるようです。機嫌のいい時は振幅の幅も少なく、おだやかな波形が表れます。また、まわりで音がしたり葉をゆすったりすると、波形は変化します。波形や声に気をつけて、ゴムノキの今のご機嫌を想像してみるのもおもしろいでしょう。

植物の活動は、日によっても、季節によっても変わってきます。また、植物の種類によっても変化します。このことから、植物は生き物で、まわりの環境に左右されて、様々な反応をすることがわかります。ちなみにゴムノキは、夜活発に活動し、昼はおとなしくなります。

「プラントロン」には、他にもいろいろな植物の声が聞けるように、チューリップやカトレアなど14種類の植物の声が、あらかじめ用意されています。将来は、いろいろな植物の声に耳を傾けながら、コミュニケーションをするのも、夢ではないかもしれません。

四季の様々な花を美しく表現する

# フラワーカレッジから

FROM FLOWER COLLEGE

## ラベンダーリース

■平成12年7月1日(土)午後1時~3時  
■講師:ハーブクラフトデザインモトエ 渡辺基江

リースというクリスマスシーズンのイメージがありますが、ヨーロッパの家庭では季節に関係なく、家庭で栽培したものを自分達で加工して楽しんでいます。今回は7月1日に行われた、渡辺基江先生の講座より、ラベンダーを使ったリース作りを紹介します。

- 1 花の束を作る。**  
最初に3種類のラベンダーの束を作ります。  
A 15本で1束  
B 12本の束を6個  
C 12本の束を3個  
(Bより短く束ねる)
- 2 花束を台にセットする。**  
最初に束ねた花を、図のようにAを中心にBが扇形になるように並べ、内側から順にグルーガンでボンド付けていきます。CはBの上に重ねるようにセットしてボンド付けします。
- 3 リボンを作る。**  
2種類とも蝶結びします。  
リボンの膨らみはリボン幅の1.5倍位にし、ややきつめに結びますとふっくらとなります。

**材料**

- ・ラベンダー(ドライフラワー) 約200本 (今回はフランス・プロバンス産を使用)
- ・リース台(わく) 直径25cmぐらいのもの
- ・リボン 2cm幅と3.5cm幅の2種、各80cmぐらいのもの(今回は色違い)
- ・ワイヤー(針金) 28号5本(1本約20cm)
- ・グルーガン

**4 リボンをセットする。**  
1本の真中を束の上に重ねてボンド付けし、残りの帯を波打つようにボンド付けします。(左右共2~3か所ずつ) もう1本も同じ要領で重ねてボンド付けします。

すき間がある場合は、小さい束か1本ずつ差し込んで埋めていきます。裏からボンド付けをするとより強度が出ます。

**完成**

### 楽しみ方

一口にドライフラワーのアレンジと言っても色々な形のものがあります。一般にリースが有名ですが、写真のように籠タイプやタペストリータイプ、額や時計を囲うタイプなど楽しみ方もいろいろですので、置く場所を考えて作られてはいかがでしょうか。

ラベンダーの他にも、ユーカリ、ローズマリー、月桂樹、木の実などもリース作りに向いています。また、家庭で栽培したものを加工して作るのも楽しいものです。

今回のラベンダーは安眠効果や病気に対する効果がありますので、健康にいいリースです。

## みどりの豆知識

### 秋植え球根

球根には春に植えて秋に咲かせるもの、夏植えで秋咲きなどがありますが、やはり種類が多く、バラエティーに富むのは秋植えの球根です。種類によって早春から初夏までいろいろな花を見ることができます。早いものは2月のスノードロップやクロッカス、続いてスイセン、アネモネ、シラー、スノーフレック、ムスカリ、ヒアシンス、チューリップ、ダッチアイリス、アリウム、カラー、ユリなどとなり、最後のユリは6月に咲きます。もちろんこれらのほかにもたくさんの秋植え球根の種類があります。

**【植える場所】**  
ほとんどの球根類は日当たりを好みます。排水が悪いと球根が腐るおそれもあるので、庭に植える場合は土を十分耕して苦土石灰、堆肥をすき込んでおきます。

**【植え時】**  
10月が適期です。生育は遅れますが12月の初めまでは大丈夫です。

**【植え方】**  
球根の2倍の土をかけるのが標準です。球根によっては浅植え、深植えのものもある

ります。間隔は間に球根2個入るくらい、といいますが、もう少し狭くても大丈夫です。

**【肥料】**  
芽がでたら、化成肥料もしくは液体肥料をあげます。

**【花が終わったら】**  
咲き終わったら花は摘んでしましますが、葉は球根に栄養を送る大事な働きをしていますので、肥料をあげて黄色くなるまでそのまましておきます。チューリップ、ヒアシンス、スイセン、クロッカスなどは掘り上げて乾燥貯蔵します。ただし、スイセン、クロッカスは毎年掘り上げる必要はありません。ユリやフリチリアは掘り上げないでそのまましておき、10月になったら植え替えをします。掘り上げる場合はパーミキュライトなどに埋めておきます。この区別は購入時に売られている状態で判断できます。水苔やパーミキュライトと一緒に袋に入れてあるものは乾燥保存ができない、と考えていいでしょう。

**【鉢植え】**  
下に根を張らせるために球根の頭が少し見えるくらいに浅く植えます。ただし、ユリは深い鉢を用意して深く植えます。

### 賛助会員募集中

みどりの協会では、豊かな緑にかこまれた生活環境づくりを推進するための賛助会員を募集しています。

- 個人会員 年会費 一口 1,000円
- 法人会員 年会費 一口 10,000円

お問い合わせ 財千葉市みどりの協会  
お申し込み 043-277-4534

### みどりの相談受付中!!

緑についての相談は「みどりの相談員」がお答えいたします。相談は電話でもお受けいたします。

花の美術館 都市緑化植物園  
043-277-8776 043-264-9559

